



日進中だより

学ぶ生徒 誠実な生徒 鍛える生徒

令和7年12月1日
第9号
さいたま市立日進中学校
TEL 048-663-1251
FAX 048-663-0834

未来と自分は変えられる

校長 長岡有実子

10月から3年生一人ひとりと面談を行っています。10~15分と短時間ですが、いろいろな話をしています。はじめは皆、緊張の面持ちですが、慣れてくると素敵な笑顔で、これまでの中学校生活の思い出やこれからの夢を語ってくれます。キラキラと輝き、希望を感じることのできる素敵な時間、私も心がほっこりし、元気をもらえるひと時です。そして、一人ひとりと直接話すことの大切さを改めて感じ、日進中学校全生徒ともっともっとたくさん話をしたいと思わせてくれる機会です。

さて、表題の件ですが付け加えると「過去と他人は変えられないけど、未来と自分は変えられる」であり、これまでどこかで耳にしたことのある言葉だと思います。子どもも大人も確実に時は過ぎていきます。生きてきた時間の長短はあっても、過去の積み重ねが、自分自身の人生の軌跡となっていきます。一日一日を振り返ると、けつして同じ一日はなく、小さな失敗があり、長期的な視野で考えると、人は皆少なからずの後悔を繰り返し、生きています。時には思うような結果が出なかったり、大切なことを失敗したりして落ち込むこともあるし、また自分ではそんなつもりではなくても人を傷つけてしまったりすることもあるかもしれません。でも、過ぎたことは戻らないし、変えられないのです。言い換れば、変えられない過去を必要以上に、よくよくして後悔しても何も進まないのです。それよりもこの状態をどう打開するかに考えをシフトしなければならないと思います。

また、自分以外の人を変えるということはなかなか難しいことです。それは親子であっても、ある年齢を過ぎると、子ども自身に意志が明確となるため、親の言う通りにならないのは、世の常です。でも、自分自身は、自分の意志で創ることができ、自分の未来は変えられます。自分の考え方次第で行動できるし、目標をもって自らの人生を創っていけます。何度も失敗しても心がけ次第ではいつでも変えられます。人は様々なコミュニティーの中に身を置き、そこでは嬉しいことや感動体験もありますが、時には相手と衝突することもあります。でも人は、自分が悪かったと思ったら自ら謝るという行動を取ることができます。元気がない人がいたら優しい言葉をかけてあげることができます。落ち込んでいる人がいたら見守り、支えてあげることができます。その優しい気持ちと行動は巡り巡って自分自身に返ってくるものです。他人を変えようと思わず、自分自身に軸を置き、令和7年のまとめに、もう一度自分自身を見つめ直していけたらと思います。

希望の登校 笑顔の活動 満足の下校